

## 10月のお代官様～大分いいね

スイングロー、スイートチャリオット、カミンフォウトウキャリミホームなんて歌いながら大分観光。ここに来たのはラグビーワールドカップのイングランド、フランス、ウェールズの出る準々決勝を観戦するために、祝日もあるから1日休んでレンタカーで周辺散策を加えました。この時期イベントが豊富で、市内は楽しいこといっぱいです。



大分府内城は天守閣は無いけど賑わっています。ねぶたの展示があって、夜はライトアップ、太鼓のステージ、園芸即売、錦鯉販売に畳表編みの実演、天守台に登ればイベント一望です。街中もカーニバル、W杯歓迎の張り子に旗、アートに音楽フェス

ティバル、ボランティアの高校生が案内してくれます。





まずは、豊前竹田の岡城跡、城巡りスタンプラリーで来ただけなのに、キャッチフレーズは、日本最強の城、入山料を支払うと巻物を渡されます。奥に深く、高く鋭角にそそり立つ石垣、確かに難航不落の山城、荒城の月の瀧廉太郎先生の像が立っています。お友達のオススメで、県境を越えて阿蘇の大観峰へ。ただ、お天気がイマイチ周辺を展望しもう一度来ると誓ってやまなみハイウェイで湯布院に向かいます。









橋のお仕事に携わっているから、九重夢大吊橋を渡りに行きます。2006年10月オープン、高さ173m、長さ390mの歩道専用として日本一の吊り橋です。天空高くから下界を展望する感じで、2つの滝を眺めることができます。高い所苦手ですけど、ここまで高いと空を飛べるような気分になりますね。橋を渡り切ると展望所があるそうで、そちらを目指すと、白蛇御参所という看板発見。高い所怖いけど、へびさんはもっと苦手、ニョロニョロと巻きつかれること考えると「よっしゃ、今日はこれぐらいにしといたろ！」という言葉を残して帰りたくなりますが、幸運の白蛇さんならと、扉を開けました。大人300円で、黒い幕の向こうへびさんにご対面できるそうで、少し迷いましたが、300円ケチって運を逃す訳にはいきませんので、エントリー。





とぐろを巻いた白蛇さん、蛇使いのお兄さん言うには、「私が横に居る限りは決して人に危害を加えません。」お兄さんと気が合うとかで、手のひらに乗せて写真撮影できると言われて、「やってみなはれ、知らんけど」とチャレンジ。少し冷たいけど、私の体温で温もる感じで、舌はチョロチョロ出しますが、大人しくて可愛い。次々に一緒に入って来た人の手のひらにちょこんと座ります。他にも同じヘビさんが居て、霊気を持つヘビさんは幸運を呼び込む気があるそうで、願掛ければ病が治癒するとかで、私も秘密のお願いをしてみました。他に2匹のヘビさんが居て、若年齢で修行中の身だそうです。ゆえに落ち着きなくニョロニョロと動き回るから怖くて触れません。参考まで、この白蛇さんは、アオダイショウのアルビノ(白子)とかではなくて「テキサス・ラット・スネーク」という外来種で、輸入されてきたものの子孫だそうです。さてさて、高所とヘビさんに真剣に向かい合った結果、大きな幸運がもたらされるのでしょうか、私のみが知っている。





最高のお天気、九重からやまなみハイウエイを進んで、リベンジ、大観峰へと向かいます。今度こそ阿蘇山のカルデラを一望、オーストラリアのテーブルマウンテンのような地形、大自然の創造物をしっかり見届けて満足満足。お帰りは九重からの大分道、空港でレンタカーを返してこの旅、終了です。

大分、いいね。







令和1年10月25日記(旅は10月19日～22日)

[11月のお代官様～ブルーライトヨコハマ](#)

[← BACK](#)